

## 2 回目の釜石派遣



派遣先 釜石市産業振興部水産課  
所属 北九州市危機管理室危機管理課  
氏名 末永 芳治  
活動期間 平成 27 年 4 月 25 日～ (継続中)  
支援活動 漁港災害復旧に関する業務支援



写真1 釜石市役所裏山から釜石港を望む

### ◆2回目の釜石！

東日本大震災からまだ1年経っていない、平成24年1月13日、初めて釜石を訪れた。街中には、被災した状態のままの建物や瓦礫の山など至る所で目にした。当時の思いとしては、復旧・復興にどのくらいの時間を要するのか想像もできなかった。

それから1年3か月、ただ時間だけが過ぎていき、これといった成果も残すことなく北九州に戻るようになった。北九州に戻って2年間、また機会があれば釜石に行きたいと思っていた。平成27年1月庁内公募の実施・・・ダメもとで庁内公募申請書を提出・・・第1次選考：書類審査をパス・・・2次選考：面接もパス・・・??すんなり2回目の派遣が決まった。

平成27年4月25日、2年ぶり2回目の釜石、見慣れた景色が・・・??2年間経っているのに・・・正直復興が進んでいるとは感じなかった。

### ◆漁港復旧工事は完了！！？

漁港復旧工事は4年目となり、市管理の9漁港の一部を除き今年度で完成する予定だったが・・・。平成28年1月18日の冬期風浪で岩手県内の46施設(被害総額約63億円)が被災した。釜石市管理漁港でも2施設(被害額約3億円)が被災してしまった。

来年度早々にH28災の災害査定が行われる予定である・・・。





#### ◆防潮堤本体工事開始！

今年度から市内 6 漁港の防潮堤本体工事を発注した。一部の漁港では、用地取得もまだ終わっていないが施工承諾をいただいて工事着手した。

担当している佐須漁港海岸の防潮堤工事着手に当たり、支障となる電柱の移設依頼を 6 月に行ったのだが、電柱が移設されたのは 9 か月後の 3 月となってしまった……。電柱移設が遅れた理由として、今年度から各地で本格的な宅地造成が始まり、一斉に移設依頼があり対応できる状態ではなかったのこと……。まだまだ時間がかかりそうです……。

#### ◆あともう少し？続く復旧工事！

復旧完了すると漁港計画の変更、漁港台帳の変更等の業務が今年度順次作成していくこととなり、工事完了してもまだまだ事務業務が残っている状態です。

防潮堤復旧工事はまだまだ始まったばかりであるが、1～2年後には完成したその姿を見ることができると思われる（本当は用地買収問題等残っているが…）

#### ◆最後に

震災から 5 年、今年度で「集中復興期間」が終わるが、本格的な復興にはまだまだ時間がかかりそうです。平成 28 年度も釜石に残り、少しでも復興に係わっていければと思う。

来年度は復興が進んだ報告ができますように……。

◆おまけ

平成 24 年 1 月初めて釜石に来た時は、東北地方は寒い！！と感じていたのだが・・・。

今年の冬はあまり寒く感じない・・・雪もほとんど降らない・・・この冬の釜石は真冬日が 1 日もなかった。  
(3 月 14 日現在)(実は昨年も真冬日が 1 日もなかった。)

2 月の中旬、東北各地で雪まつりが催されるが、雪不足で中止になったり、開催期間中の雨で雪像が壊れてしまったりと散々だった。。これも地球温暖化の影響か・・・。



スノーモンスター??も今年は小さ目